

## 議会報告会実施報告書

開催日時	平成 30 年 4 月 22 日 (日) 午後 2 時 0 0 分～3 時 3 0 分	
開催場所	勤労福祉会館 (ヴェルクよこすか)	
出席議員	木下憲司 (代表者)、杉田惺 (司会)、山口道夫 (総務)、矢島真知子 (生環)、石山満 (教福)、青木秀介 (都整)、西郷宗範 (給食)、青木哲正 (ごみ)、田中洋次郎 (パソコン操作)、小林伸行 (記録)、はまのまさひろ (受付等)、永井真人 (受付等)、藤野英明 (受付等)、井坂直 (受付等)、南まさみ (受付等)	
参加者	27 名	
実施内容	<b>【第 1 部】 議会からの報告</b> ・平成 30 年度予算、特別委員会等 <b>【第 2 部】</b> ・グループディスカッション「横須賀を魅力的なまちにするには」	
実施結果 (主な意見)	1 グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所職員の積極的な市内居住を促進してほしい</li> <li>・市街中心地の活性化によって「まちなか」を充実させてもらいたい</li> <li>・半原水源で関わりのある愛川町ともっと交流してはどうか</li> <li>・市民アンケート等の実施による市民と行政の結びつきを強化してほしい</li> </ul>
	2 グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はつらつシニアパスの年齢制限を緩和してほしい</li> <li>・職住近接を大切にしたまちづくりをすべきである</li> <li>・市民が「受ける側」から「与える側」になっていく必要性</li> <li>・もっと横須賀の魅力を情報発信していくべきである</li> </ul>
	3 グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップの精度を高める必要性</li> <li>・西地区の児童が三浦市の学校に通えるようにしてほしい</li> <li>・災害時の医療体制を整備していく必要がある</li> <li>・防災に関する特別委員会を立ち上げてはどうか</li> </ul>
	4 グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時地域医療救護所を整備すべきである</li> <li>・(仮称) 中央こども園の設置場所再検討の必要性</li> <li>・放課後児童クラブをすべて公設にすべきである</li> <li>・子どもがスポーツやエンターテイメントで活躍できる施策の必要性</li> </ul>
	5 グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海からの観光客誘致と港の活用を推進すべき</li> <li>・統廃合によって廃校となった学校を有効活用すべき</li> <li>・貝山地下壕を開放すべき</li> <li>・立地を活かし若い世代と子育て支援の充実をすべき</li> </ul>
	6 グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルートミュージアムにより、本市の歴史遺産を広く周知すべき</li> <li>・プロスポーツ選手との交流を促進してほしい</li> <li>・聴覚障害の音楽鑑賞への合理的配慮が必要である</li> <li>・横須賀の中央エリアをより振興させてほしい</li> </ul>
	7 グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要約筆記の申込手続きを改善してほしい</li> <li>・総合福祉会館の防災訓練の全員参加化</li> <li>・聴覚障害者へのデジタルサイネージを活用すべき</li> </ul>
その他 (報告への質問等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共料金のコンビニ収納を推進していくべき</li> <li>・人口減少対策への集中審議を行うべき</li> <li>・スカリン観光タクシーのパンフレットの効果的に活用すべき</li> </ul>	

横須賀市議会議長 様

平成 30 年 5 月 10 日

上記のとおり報告します。

代表者 木下 憲司